



古今後学伝記
四

へ遠13
6695
4



1695
4



鴨長の寝えお徳舟田

意流の借女はおとさう事

中細の御時とつる人のお中よ。さきこのおの
き。雲深の衣のみ。いづきよ。お徳が長舟とつ
をうけて。お練子の念珠のたき。あまを。うりさ
げする。は。御入。き。て。おと。り。中細。を。あ。ま。い。ら
ある。借。そ。ご。う。ひ。ら。さ。よ。は。御。に。う。て。か。り
の。世。よ。さ。う。あ。く。い。を。あ。の。び。か。つ。て。お。娘。より。い
う。こ。生。死。は。持。と。る。お。是。が。悩。ま。ひ。う。れ。て。か
う。き。い。を。お。中。ぬ。よ。う。そ。お。と。ひ。ま。ん。法。枝



紫藤
車

あま

かみしはおどかして。いかにかみしを。とて

女子賢人たるは事

何のおどいとうや。かみしを。いかにかみし賢人の名は
わらう。地事よ。甚だ。たまはれ。賢人の名は
とそ。早き。志。れ。と。色。おは。か。の。び。た。ま
ふ。り。き。り。お。の。對。れ。ま。し。井。わ。り。下。せ。と。あ
つ。ま。り。清。淨。と。あ。つ。ひ。て。ほ。き。り。甚。中。り
つ。き。女。の。姆。つ。う。あ。ぬ。を。そ。く。閑。所。は。振
て。や。ん。か。ま。く。ら。ま。き。り。空。後。は。事。成。き
と。の。ひ。侍。不。の。難。は。の。み。あ。き。い。は。あ。り。え

あを汲よ。つら。教。て。い。ま。か。こ。よ。つ。ら。て
水。を。ん。時。ま。の。い。く。人。わ。ら。水。桶。を。と。て
て。ま。り。と。れ。お。せ。ま。き。り。あ。ん。の。ま。
移。き。と。せ。り。ひ。き。り。時。女。水。桶。を。お。げ。ま。き。り。は
く。は。き。り。甚。後。大。長。の。後。へ。ま。つ。ま。き。り。よ。
公。事。言。法。の。後。也。自。の。侍。所。は。水。桶。入。る。必
と。ぬ。つ。と。と。お。け。ら。ま。し。ら。き。れ。た。長。せ。い。ん
して。と。事。あ。り。て。お。ま。し。ま。き。り。賢。人。あ。れ。と
振。舞。よ。つ。ひ。て。ま。り。ま。し。ら。ひ。き。り。お。お。ひ。お。ら。く
の。真。れ。ま。し。ら。ま。り。女。の。お。ま。き。り。は。い。り

をのましましこころんよ首ばさうして一袖ち縁
 ぢころんよ首せんやそれよのそののかにまを二
 人どりりあをせさるるちこふてあるなりがそ
 ろうしめめめくわねとさうさうさうさうたん
 られよひおころころころころころころころ
 らまぬまひのしりがくてまもまの代あは
 ましおのいふてわもさうさあまのあひさわあ
 けをくかやあをいふをさういひぬと今あ
 らまひらららあまのくしりまもまららら
 ららららららららららららららららららら
 ららららららららららららららららららら



やうがまれ。たある。床の角を擦りあて。ちんぽん。
うまあんごん。おちかふ。さる。そのびん。た。
ちんぽん。

高子牛飼談らる事

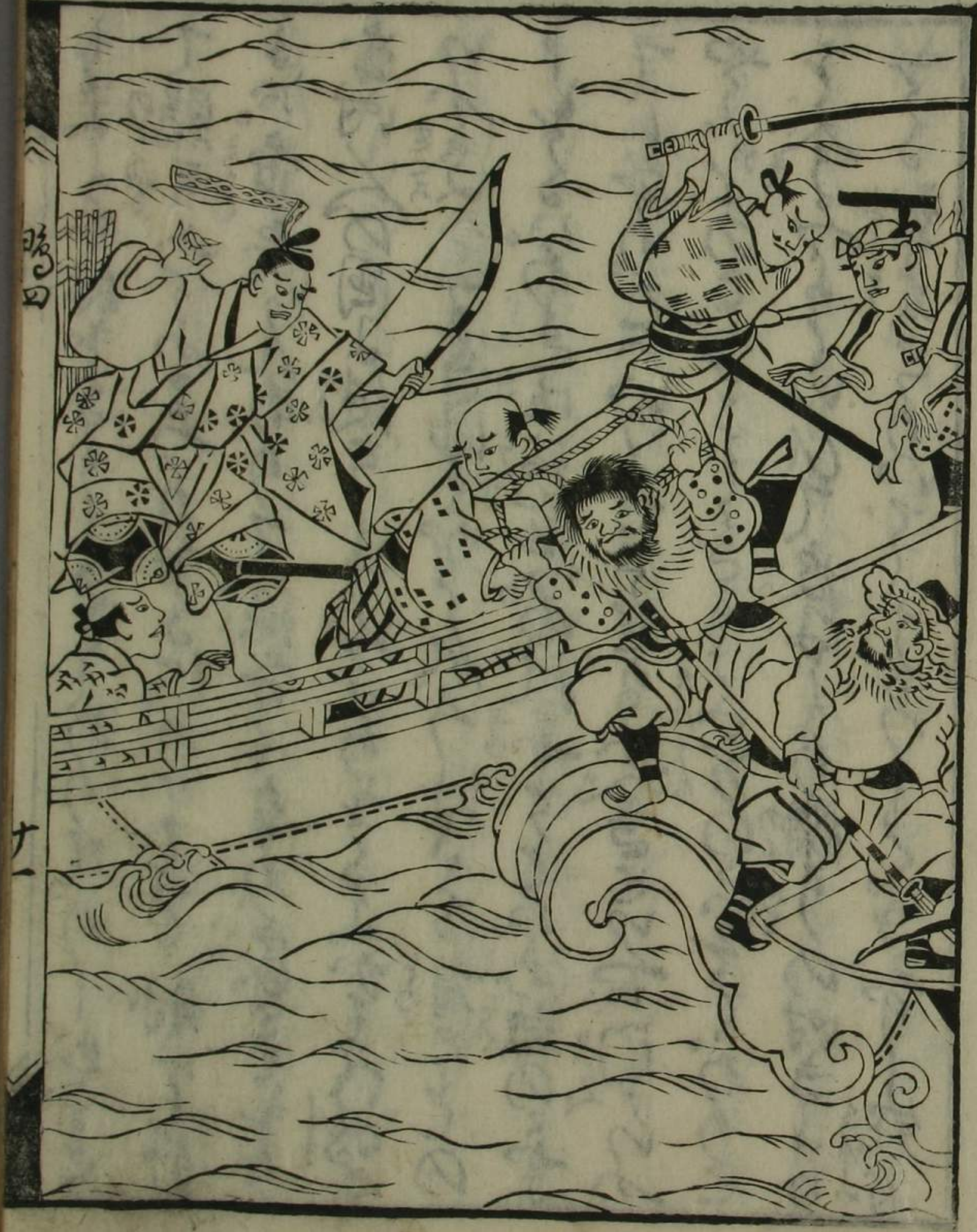
おんざれ。たある。床の角を擦りあて。ちんぽん。
うまあんごん。おちかふ。さる。そのびん。た。
ちんぽん。
た。高子牛飼談らる事。
おんざれ。たある。床の角を擦りあて。ちんぽん。
うまあんごん。おちかふ。さる。そのびん。た。
ちんぽん。
た。高子牛飼談らる事。
おんざれ。たある。床の角を擦りあて。ちんぽん。
うまあんごん。おちかふ。さる。そのびん。た。
ちんぽん。

を。高子牛飼談らる事。
おんざれ。たある。床の角を擦りあて。ちんぽん。
うまあんごん。おちかふ。さる。そのびん。た。
ちんぽん。
た。高子牛飼談らる事。
おんざれ。たある。床の角を擦りあて。ちんぽん。
うまあんごん。おちかふ。さる。そのびん。た。
ちんぽん。
た。高子牛飼談らる事。
おんざれ。たある。床の角を擦りあて。ちんぽん。
うまあんごん。おちかふ。さる。そのびん。た。
ちんぽん。

〜の^カ〜の^カ〜の^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜

あな^カな^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜

あな^カな^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜
^カ自^カに^カ〜の^カ〜



そまうの射きさるゝ事いあらはる。めいさ
て賭ちつゝまじりきるは。あてて射らけ
まが帝のいあらはる。録しゝもの。
おの國よ使して。さるきよ。か
いおもた。あはゆる。さるきよ。者
しきる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
てら。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あ。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
を。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
きる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。

懸す。わらふ。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。
あはゆる。あはゆる。あはゆる。あはゆる。

きあやうなきつゝあつていふはうへいしりてあつて
 衆のいふに何あつていふはうへいしりてあつて
 まじきと。アアと云ふはうへいしりてあつていふは
 かり。アアと云ふはうへいしりてあつていふは
 ぞうして。家ののりぞうしてあつていふはうへいしり
 てもたの目よつていふはうへいしりてあつていふは
 ついて。あつていふはうへいしりてあつていふは
 きぬ。あつていふはうへいしりてあつていふは
 ぶつのおつていふはうへいしりてあつていふは
 海とくともいふはうへいしりてあつていふは

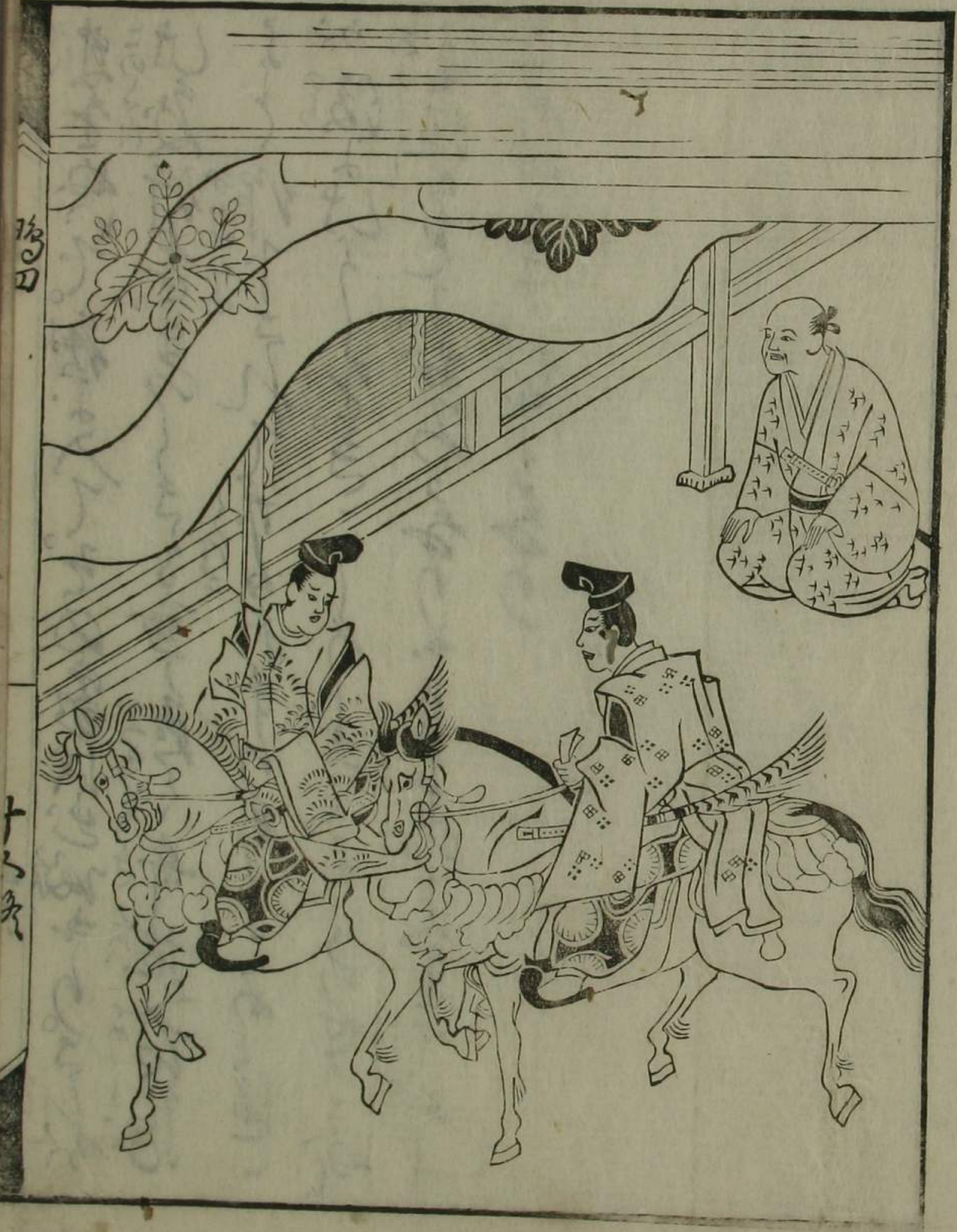
あとわつていふはうへいしりてあつていふは
 ちとつていふはうへいしりてあつていふは
 つていふはうへいしりてあつていふは
 こつていふはうへいしりてあつていふは
 おけふつていふはうへいしりてあつていふは
 うつていふはうへいしりてあつていふは
 やんよつていふはうへいしりてあつていふは
 ちきつていふはうへいしりてあつていふは

眞をよつて仇とみる事

白河院鳥羽たりし時。お面のどのと
 受領玉へ。いりまひひをそえ。御後あるし
 とく。は月や皮玄蕃頭久則と。いよそのをを
 衣冠よきぬり。して其の外位をと。ある前
 せきり。名御からあやを。らやして。をそ
 へ。と。し。さるや。ふ。お徳目行を。つきた。くれ
 て。出立まる。う。ほらぬ。い。い。ん。で。六。月。子
 きり。せん。や。ふ。べ。と。そ。法。所。巡。り。さ。る。の
 家。よ。入。て。後。者。を。い。び。て。や。を。く。は。お。の。ほ。よ
 け。さ。り。て。み。り。て。ま。も。か。ら。て。つ。り。り。さ。る。よ。時

つるま。く。か。り。ま。れ。い。ん。て。か。く。い。を。そ。め。い。と。あ
 辰の時こ。と。し。て。候。わ。り。が。こ。と。だ。定。年。の。末。よ。か。
 門の房よ。声。し。て。あ。ま。は。し。け。り。か。り。つ。る。も。の。ま
 こ。り。と。し。入。り。ま。ら。つ。る。お。数。本。の。もの。よ。い。て。い。も。と。お。と
 ふ。や。よ。玄。蕃。頭。の。お。西。國。の。す。ご。こ。た。り。か。り。つ。る
 鳥。帽。子。け。を。と。と。さ。れ。ま。り。あ。ん。ど。か。し。る。あ。や。し
 く。お。あ。て。を。お。ん。と。し。る。時。か。ん。せ。よ。あ。り。つ。る。男
 さま。ま。り。と。し。て。お。行。を。さ。し。ま。よ。つ。く。い。

まり。うらたゑとて云。お方かむしりののんねを
 がすのあふと事うるうく。何ととおがくは
 ほど。院の法橋のあけ後一あひのひき
 かありのあ。目と心とおびりたさふ。梅
 みりつ。とてあをうてはひぬらう。又行を
 まる。うらたゑとて云。お方かむしりののんねを
 おやのあふと事うるうく。何ととおがくは
 たう。とてあをうてはひぬらう。又行を
 りあをうてはひぬらう。又行を
 行。とてあをうてはひぬらう。又行を



十九日
 十九日

姿をぬいで。襦すくよ入いて。その家いへは出いぬきの。さか
 けこのいなは行ゆき。まのうさる事ことはきくき怪あ入いるは花はな
 よとおの下くだされるては木き白しろあまり。あまりこめめはいし
 がの後のちよきりなをかこしてはいまるあらまり。
 ちしりしりあらまりきまる事ことのいふいかり
 こめゆらりしたまりのいふ

